



ゆうステーションと周辺整備



DATA・BOARD 57



- ① 熊本県阿蘇郡小国町大字宮原
- ② 建物面積626㎡
- ③ 交通センター、歩道、案内標識、電話ボックス、時計柱
- ④ 木材（小国杉）
- ⑤ スギトピアおくにまつり

小国町では、悠久の年輪を刻む小国杉、悠々と噴き上げる地熱、悠々たる大自然など、小国町の特性や資源を生かしたまちづくり構想「悠木の里づくり」を展開している。

ゆうステーション（交通センター）は、その第一歩となったもので、これまで日本にはない木造のトラス構造で建設し、地場産品の杉が広く活用されている。また、周辺の整備にあたっては歩道、側溝蓋、案内標識、電話ボックス、時計柱などに木の活用を図り、景観についても杉を地域デザインに取り入れた街並みづくりを行っている。

このように新しい木材の利用方法を産地自らが考え工夫していくことで、地域が活力をもち、町には新しい魅力が生まれている。